

## 雜 錄

**比島に於て本邦製琺瑯鐵器排斥提議** (7月19日附在マニラ帝國總領事縫田榮四郎氏報告、海外商報第1001號)比島に輸入せらるる琺瑯鐵器の約80%は本邦製品にして、歐州大戰來良く獨逸其他の歐洲製品を驅逐し米國製品に對抗して漸次其地歩を固め、比島向本邦輸出品中主なるものとして將來を矚目せられ居る次第なるが7月7日當地フイリピンズ・ヘラルド紙上に「日本品は有毒なり」と題し、日本製琺瑯鐵器分析の結果同品は酸化鉛を含有し居り、人體に有毒なる事を發見せられ、爪哇、ボルネオ及スマトラ方面に於ても該品の排斥運動起り居るに鑑み、比島に於ても日本品の輸入禁止方に關し、適當なる手段を講ずる必要あるべしと當地歐洲製琺瑯鐵器取扱商より衛生當局へ提議せる趣の記事掲載せられたり。惟ふに斯くの如き報道は吾が重要輸出品たる琺瑯鐵器の聲價並輸入に對し尠なからざる惡影響を及ぼすものにして報道内容の實否如何に不拘等閑に附し難き性質のものなるに付き、直に之が出所並報道事項の實否を内探すると同時に不取敢當地各主要新聞を通じて本邦製品は其輸出に際し嚴重なる法規上の取締り若くは検査を受くる次第にして之に合格せるものに限り輸出せらるゝものなるを以て同製品原料中に有毒性のものを含有するが如き事無しと聲明し置けり。以上は本邦品の販路益々擴張せられ爲めに歐洲品の割込み頗る困難となり來れる折柄本邦品の聲價を落し之に對する需要を減退せしめんとする歐洲品取扱業者の苦肉の策に出でたるものと信ぜらるゝ節あるも、兎に角本邦當業者に對し重大なる關係を有するものなるを以て當業者に於ても注意を要すべし。

**歐洲粗鋼合同、今期總會** (10月3日附在漢堡・來栖總領事報告・海外商報第997號)歐州粗鋼合同は本年9月26日より同28日に至る間ルクセンブルグに於て定期總會を開き、先づ會頭マイリツシュ氏の重任を可決したる後、本年第4.4半期の生産額割合を議し、佛蘭西側は本合同成立以來自國生産の成績に鑑み現在よりも10%の減少を主張し之に反し獨逸側は其増加を希望し、他の合同諸國は現狀維持を主張せる爲め結局第4.4半期の生産額は現在の通り合同諸國合計7,321,750 匁(年産量2,928萬7,000 匁)内獨逸側の生産を316萬1,000 匁(年産額1,364萬4,000 匁と)定め、次に前期會議に於て決定したる内國需要に對する供給に對しては生産超過違約料匁當2 弗を全然廢止せん事を獨逸側より提議したる結果右を1 弗に引下、輸出向の生産超過に對しては従前通り違約料4 弗を維持し尙右獨逸側の内國需要及輸出の割合は従前通り72%及28%の割合を維持す。

上記決議の結果は最近特に國內に於ける鋼鐵需要の大なるに鑑み、獨逸側の成功として當業者に満足を與へ居れり。

尙波蘭側の加入問題に關しては同國側の要求大に過ぎたる爲め今回は之を決定するに至らず。

會議中に粗鋼合同共同會計現在基金を英國製鐵業の競争對抗策として輸出獎勵金に使用せんと提

議ありたるも右は時機尙早なりとして却下せられたり。

本合同に對する英國側の加入問題は未だ具體化するに至らず、今期總會の議には上る能はざりしも追て先づ既成合同諸國間に共同販賣合同を組織し合同内部の基礎を固めたる上上記交渉の運に至るべきかと思考せらるるも其邊未定なりとす。

**歐洲製鋼カルテル加入國會議** (10月5日附在佛・河合代理大使報告・海外商報第1013號) 歐洲製鋼カルテルに關し9月26日より同月28日迄ルクサンプールに於て本カルテル加入團體の會議を開催し、(1)割當生産量超過部分にして國內市場に於て販賣したるもの、應當賠償料金の引下(2)波蘭の加入問題(3)半製品、竿、條、ワイヤロッド等を協定の目的物とする事等を議したる趣なるが、主議事の内容に付ては當地に於て詳細承知し難きも其大體に付當國ジュールネ、マングストリエル紙上には以下の如き趣旨の記事を掲げられたり。

9月26日より同月28日に亘り催されたる國際製鋼カルテル加入者の會議は極めて重要なるものなりき。

該會議に於ては本年第4期分の製鋼應數を決定する事を要したのみならず特に獨逸側に於て反對を唱へ居れる國際販賣勘定の困難なる問題を上程せざるを得ざりき。

本會議は妥協と互讓の精神を以て行はれたが、議長メイリッシュは其敏腕なること本製鋼カルテルの各會合に於て汎く熟知せられ居る處にして今回も亦滿場一致を以て議長に推されたる次第なり。

本年第4期分の製鋼量問題に關し獨逸側は其増量を要求したるが佛國側を含む其他の團體は現状維持を主張し之に反對したり、各團體は極めて靜穩に其意見を開陳したる後結局第4期分の生産量としては現状維持即ち年生産額2,928萬7,000 噸の割にて本年第4期分の生産量を定めたり、生産割當超過量にして國內市場に於て賣却せられたるものに對する應當賠償金減額方に關する獨逸側の要求に關し妥協の結果1 應當2 弗なりしを1 弗に減額する事となれり、其代はり獨逸側に於ては本年第4期の中は外國市場への輸出量を現在の程度に止むる事に同意を表せり、蓋し以上は獨逸國內市場が各輸出量を現在の程度に止め得しむる狀況にあるを以てなり。

若し獨逸國內市場の消化力衰退するに至らば獨逸は外國市場への活動を熾烈ならしむべく其際は如何に措置すべきやの問題ありたるに依り輸出超過量に對する賠償金額は依然應當4 弗を維持したり。

此外常に獨逸が其全生産割當量が佛國に對する量に比し小量なる事には苦情を唱へ居たりしも今回は以上割當量の修正を要求せざりき、蓋し此問題は容易なるものに非ず。

獨逸側は半製品及竿に關しても割當量を確立する事に努力を傾注せり、獨逸側は以上物品を協定中に加ふる事に依り其不利なる地位を改善し得と思惟せるものなり。

従來の會議に於て既に加入者の割當量を計算すべき基礎としては1926年及1927年の最初の3期の間に輸出せられたる應數を採用する事に決議し居れり。而して以上の期間は英國の罷業の爲め輸出極めて優勢なりし同期間なるが期間に於て半製品にもあれ又竿にもあれ獨逸の輸出極めて盛なりし次第

なり、以上計算方法を以て割當てられたる噸數の外に白耳義側は新に他の團體（註獨、白、佛、ルクサンプルヒ以外の國）の加入ある場合には其時より約3萬噸の割當量の増加を得む事を常に要求し居たり。然るに以上の團體は加入を拒絶したり。

然る處白耳義は多量の鋼を獨逸に輸入したり、從て其輸入が獨逸の割當量を實際上著しく減せしむるものなる事を發見したり、茲に於て會議は獨逸が若し其割當量の一部を白耳義に讓る事とせば白耳義側は獨逸への輸入をなさざる事とすべき旨の協定を獨白間に設くるの必要を以上兩國側に勧告する事とせり。而して獨逸の讓るべき分量を2萬噸とせり。獨逸側は之の勧告を受諾したるも、白耳義側は其委員長病氣の爲、會議地に在らざりしを以て同委員長に諮る事とし、回答を10月17日爲すべき事とせり。

以上の如くして先づ妥協成立したる次第なり、尤も各國に對する割當量を當業者間に振り當る際當業者間に多少の紛議あるべきも、本カルテルの事業に影響を與ふる事なかるべし、半製品及竿に關する協定成立の上は、次に起る問題は鐵板及條鋼に關するものなるべし、波蘭のカルテル加入は實現せざりき、後日の問題として残されたり、波蘭側の要求は更にカルテル側に於て充分攻究するに非ざれば承諾し得ざる性質のものに屬す、其要求する所は内國市場は全然之を獨占せむとするのみならず極めて大量の輸出割當量を獲取せむとするに在り、以上の要求は關稅の問題を除外するも無理なる問題なり、波蘭側の要求調査を擔任する委員會は、製鋼カルテルの主義と杆格する處なく然も波蘭側の生産狀況に適應する相當巧妙なる方法を案出したるが波蘭側は此案をも受諾せざりき波蘭加入問題の成行は以上の如くなるが、カルテル側理事に於ては猶今後と雖も之の加入問題を引續き審議すべしと考へらる。

ワイヤロッドに關する協定の問題はルクサンプルヒの會議に於て愈々確定的に纏まりたり、只協定規約の下に附加したる花押を署名に代へば確定的協定のなる次第なるが上記の通り白耳義の主席代表者病氣不參列なりし爲、確定規約に署し得ざりしに止れり。

佛國に於てはザールよりの輸出の問題に付會議の諒解を得たるに付、佛國側としては一般協定加入の件に付何等の支障を感ずる事なき次第なり。

10月4日リュージュに於て行はるべき會合に於て白耳義側に於ては其割當てらるべき分量に關し異議なき事を宣明すべしと期待せられ居れり。而して此如くにしてワイヤロッドに關する協定も先づ成立したると同様と見る事を得。

販賣價格に於ては何等變更を見ず、針金に付てはワイヤロッド協定の活動を開始するに至れば其景氣改善せらるべしと考へらる、茲暫時の辛抱なり。

要之製鋼協定はルクサンプルヒに於ける會議に於て著しく發展するに至り、會議は何人の豫期にも反し活躍せり、由是觀之國際製鋼協定は益々其盛大を致すべき事殆ど疑なきに至れり。

**獨逸に於ける9月中鉄鐵産額** (11月1日著在漢堡帝國總領事來柄三郎氏電報拔萃・海外商報

第999號) 9月中生産 ルール石炭1,270萬噸, 鉄鐵110萬5,000噸, 粗鋼137萬噸 前年同月に比  
し石炭27% 鉄鐵32% 粗鋼17% 増加 鑄鐵爐總數190基 作業中のもの114基とす。

**漢堡鐵材輸出相場** (11月1日著在漢堡・帝國總領事來栖三郎氏電報・海外商報第699號) 10月輸  
出相場下の如し。

- A. 鐵棒 月初 6磅7志6片、上旬以降 6磅7志
- B. 型鐵 (1)Angles 前月同様 (2) Tees 月初 6磅15志 上旬以降 6磅14志 (3) Joint  
月初 6磅3志 上旬以降 6磅12志
- C. 條鐵 前月同様
- D. Plates 3/16 u.up. 中旬迄 7磅12志6片 下旬 7磅10志
- E. Plates 1/8 u.np. 中旬迄 7磅12志 下旬 7磅15志
- F. Plates 1/16 中旬迄 8磅4志 下旬 8磅2志6片
- F. Thomas Wire Rods 中旬迄 7磅 下旬 6磅18志

但し國內相場 E. 145—150馬克、 F. 160—165馬克、 他は前月同様

**英國鉄力生産制限協定發表** (11月25日著・在倫敦帝國大使館商務參事官松山晋二郎氏電報・  
海外商報第1020號) 鉄力製造業者は、最近斯業不況對策として従來の協定を改正し、新に最低相場を  
標準との輸出港渡し F. O. B. 17志6片とし13週毎に3週休業として生産制限を行ふ事に決定、目下  
協定參加會社90%に達し居るも尙増加の見込、協定發表と共に内外注文相當に市價強含。

正 誤 表

鐵と鋼 第十三年 第九號 論說 鋼塊に起る偏析の研究(III) 蔭田宗次中

頁	行	正	誤
721		輪條齒痕	條輪齒痕
754	11	改めて	改あて
755	脚註	Diegel	Diegal
757	5	30 秒	30 秒
"	9	據るも	據ると
"	15	角隅齒痕は	角隅齒痕は

鐵と鋼 第十三年 第十號 論說 燒戻硬化するアルミニウム合金の研究(V) 田邊友次郎中

844 Table LXXXIII	燒戻溫度°C	燒入溫度°C
847 12	其後 Hallmann	其後 Hallmaun
846—849 比電氣抵抗の 數式中	10— <sup>6</sup>	10— <sup>5</sup>